

担い手を核とした持続可能な経営体の育成

～ 共に協力して何事も成功しよう ～

対象：沼田町共成地区（16戸）

1 活動の背景

現状

課題

水稲反収：559kg/10a (H30～R2平均)
町平均より30kg/10a多い
経営主の平均年齢：46歳
平均耕地面積：23.9ha（町平均並）

・親が働けなくなったときの労働力不足対策
・担い手のスキルアップ
・情報交換の場の創設

2 活動の経過

(1) 担い手のスキルアップ

ア 土壌診断の実施

- ・土壌診断結果に基づく施肥設計
- ・土づくり研修会

イ 水稲育苗管理の見直し

- ・チェックシートによる見直し
- ・育苗研修会、視察



(2) 効率的な農作業体系の確立

チェックシートによる農薬保管庫の状況確認（写真1）



写真1 農薬庫聞き取り

3 成果の具体的内容

(1) 担い手のスキルアップ

ア 土壌診断の実施

(ア) 施肥設計の実施

- ・16戸（20筆）が土壌診断を実施！
- ・リン酸過剰、ケイ酸の不足が見られた

若手5戸が施肥設計を実施した →目標達成！

(イ) 土づくりに対する意識の変化

- ・2戸（4筆）で土壌断面調査（7名参加）を実施（写真2）
- 水稲の生育が劣るほ場では、作土が浅く、作土層以下で排水不良となっていることが見られた。



写真2 土壌断面調査

★農業者の声

- ・コスト低減には、ほ場に合った施肥対応が必要だね。
- ・初めて自分のほ場の土壌断面を見たよ。
- ・水稲の生育が悪い要因は、下層の土質に問題があったんだね。
- ・有意義だったので、今後も開催して欲しい。

イ 水稲育苗管理の見直し

(ア) 水稲育苗管理チェックシートの活用による改善

16戸全戸が実施! →目標達成!

- ・16戸中7戸が改善した。
- ・特に「浸種・催芽」が改善された。

(イ) 苗質の向上

良い苗は収量が高い!

- ・次年度の育苗管理に対する意識が高まった。
- ・床土の酸度矯正を6戸が実施した。

(ウ) 育苗研修会による意識の変化

研修会に5戸(女性が中心7人)が参加!(写真3)

- ・実際に育苗管理をしている人ならではの質問が多かった。

★農業者の声

- ・他の人のハウスを見る機会がなかったため、大変勉強になった。＼(^o^)/

表1 育苗チェックシート集計表

(一部抜粋)

項目	改善した人数
ハウス準備	3
浸種	7
催芽	7
資材	2



写真3 育苗研修会

(2) 効率的な農作業体系の確立

農薬保管庫の状況を14戸が点検! →目標達成!

- ・改善点を確認し、改善意識が高まった。

★農業者の声

- ・保管庫としてしっかりしたものは持ってないけれど、専用になっているものはあるよ。
- ・すぐ使うのに「面倒だから」と家族が置きっぱなしにするので、注意しないとね。
- ・整理しやすいように新しい農薬庫、買おうかなあ! ...etc.

農薬の保管状況

皆さんの農薬の保管状況について伺います。

項目	はい	いいえ
専用の保管庫はありますか。		
保管場所に鍵は掛かりますか。		
保管場所に施錠はしていますか。		
農薬の種類別に分類して保管していますか。		
使用時には、ラベルを確認(作物登録、倍率など)していますか。		
使用記録、在庫管理をしていますか。		
空ビンなど容器の移し替えはしていませんか。		

4 今後の課題と対応

担い手のスキルアップ

ア 土壌診断の実施

- ・施肥方法や土づくりの情報共有

イ 水稲育苗管理の見直し

- ・育苗管理方法の改善
- ・研修会の継続

効率的な農作業体系の確立

効率的な農作業の組み立て

<例>

- ・省力化技術の導入検討
- 疎植栽培技術の確立
- etc.

図1 農薬保管庫チェックシート

